

まちの ニュース

地域の団結力を見せる西根地区の大運動会

西根地区の大運動会は8月17日、大更地区は市総合運動公園多目的運動場、田頭地区は田頭小学校校庭でそれぞれ行われました。

西根地区では、地区公民館単位で、毎年運動会を開催しています。

子どもからお年寄りまで、幅広い年代の市民が参加。地域の交流と連帯を深めながら、日ごろの運動不足を解消しよ



4人で棒を持ち、ジグザグ走行でゴールを目指す「横一線」(大更地区)



手を使わずパンを取る「パン食い競争」(田頭地区)

うと、心地よい汗を流しました。

年代ごとの個人種目やチャンスレース、団体種目の綱引きやリレーなど、それぞれの会場ごとに特色あるプログラムで熱戦を繰り広げました。

選手たちは、地域の名誉をかけて、それぞれの種目に挑戦。応援に駆け付けた市民は、全力ではつらつとした好プレーを見せる選手たちへ、大きな声援と健闘をたたえる拍手を送っていました。

各地区の結果は次のとおりです。

- ▼町
- ▼大更①両沼②大石平③下
- ▼田頭①中平笠②町組③高宮

昔のままの小川に住む生き物を観察しよう

松野保育所の水生生物調査は8月8日、松尾地区野駄を流れる山口正光さん宅前の小川で行われました。

園児たちは、地域住民の指導を受けながら用意された網や小さなバケツなどを使い、水の中や川底に住んでいる生き物を探します。ドジョウやカワエビなどを捕まえたほか、大人が仕掛けた網にイワナがかかるなど、園児たちは大歓声を上げて喜びました。

参加した園児たちは、初めて見る水辺の生き物に興味津々の様子でした。



↑網やバケツを使い、小川に住む生き物を探します

➡捕まえた生き物をみんなで観察



リンドウで運転手に安全運転を呼び掛ける

岩手警察署と市の交通安全関係者は8月9日、夏の交通事故防止県民運動の期間に合わせて、夏の交通事故防止啓発活動を市内4カ所で行いました。

東北自動車の西根・安代インターチェンジ、道の駅にしね、松尾地区の国道282号沿いで、市特産のリンドウとチラシなどを配布。「安全運転でふるさとへお帰りください」と交通安全を呼び掛けました。



リンドウなどを配布し、交通安全を呼び掛けました

手作りのあんどんが優しい明かりをともす

荒屋公民館あんどん作りは8月6日、同公民館で行われました。

参加者10人が木枠を組み作成したあんどんに、思い思いの絵を描いた和紙を張りました。参加した寺志田の佐々木海くん(安代小3年)は「木の枠をくつつけるところや和紙に何の絵を描くか決めるのが難しかったけど、上手にできてうれしかった」と手作りのあんどんの優しい明かりを楽しんでいました。



和紙を張ってあんどんの完成です

送り盆の伝統行事・ぶっこみ太鼓が勇壮に

田山地域で江戸時代から続くといわれる送り盆の伝統行事、田山ぶっこみ太鼓は8月16日、田山保育所周辺で行われました。

大きな太鼓が打ち鳴らされ、伝統のぶっこみ太鼓が始まります。上組、下組に分かれた太鼓とちようちん行列が、勇壮な掛け声を上げながら練り歩き、会場へ向かいます。合流した行列は、大きな盆踊りの輪となり、地域の住民が踊りを楽しみました。



掛け声を上げて会場を目指す太鼓とちようちんの行列

東北初のごみ処理施設完全委託へ向け調印



調印後に握手する新矢邦彰事業本部長(左)と田村正彦市長

行財政改革の一環として推進する、市清掃センターなどごみ処理施設の管理運営業務についての基本協定書調印式は7月31日、市役所で行われました。

協定を結んだのは、協和エクスオ(東京都、資本金68億円)など5社のグループ。来年4月から10年間、市のごみ処理施設の運営を委託するための協議を始めます。既存のごみ処理施設の民間委託は、東北では初めての事例です。

岩手生まれの和楽器「和音」を演奏しよう

柏台自治会（高橋良二会長）の小型琴「和音」と二胡と紙芝居を楽しむ会は8月8日、柏台地区センターで開かれました。

地域の子どもからお年寄りまで、約50人が参加。高橋会長が人権について考える紙芝居を読み聞かせました。全国「和音」同好会の師範を講師に迎え、「ふるさと」などの曲を練習。最後にみんなで大合奏して、豊かなハーモニーを響かせました。



楽譜を見ながら和音を練習する参加者

地域の力を結集して商店街を盛り上げよう

市商工会と大更地区商店街活性化推進委員会は8月24日、トクトク戸板まつりをフーガの広場で開催しました。

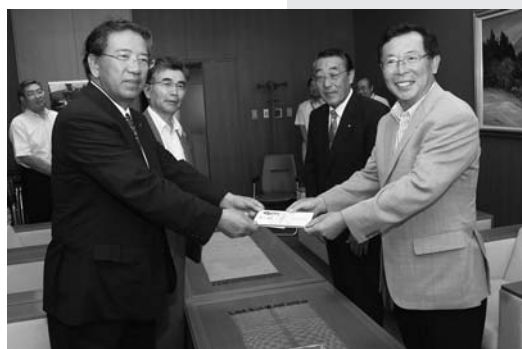
あいにくの雨模様ながら、ご当地ヒーロー・ハチマンタイラーなどによるお菓子まきやマグロの解体ショーなどのイベントは、家族連れで大盛況。物産販売や屋台などにもぎわいを見せました。このほか、23日の夜にはビアゲーム大会なども開かれ、ビンゴゲーム大会などで盛り上がりました。



子どもたちにお菓子をプレゼントするハチマンタイラー

八幡平市建設協同組合（遠藤忠志理事長、51社）は8月5日、第3回市夏まつりの協賛金として50万円を同実行委員会（高橋富一会長）に寄付しました。

これは、同組合の地域貢献活動の一環として行われたものです。贈呈式は市役所で行われ、遠藤理事長から田村正彦市長、高橋会長に目録を贈呈しました。市夏まつりは、市民や企業からの協賛金などで運営されています。



田村市長（右）に目録を手渡す遠藤理事長

市民が楽しむ夏まつりへ業界団体から寄付

基礎体力、スポーツ精神を養う市スキースーパークッズ養成講座の第5回は8月5日、松尾地区体育館などで行われました。

21人の参加者が、午前は保護者と一緒の栄養学の講習と2回目の体力テスト、午後はアクアスロンに挑戦しました。体力テストでほとんどの参加者が前回より記録が向上し、6人がA判定となるなど、養成講座の成果が現れ始めています。



水泳とマラソンの2種目を同時に行うアクアスロン

スーパークッズの原石が輝きを見せ始める

市の小学生横綱を目指して好取組を見せる

第3回八幡平市学童相撲選手権大会は8月2日、市松尾相撲場で開かれました。

開会式で田村正彦市長は、「2巡目国体で県代表選手として活躍できるよう、努力してください」と選手を激励。それぞれの部門に分かれて、熱戦を繰り広げました。

(敬称略)
◇団体①平館小A②田頭小③大更小
◇個人▽女子の部①田村仁美(平館)②伊藤瑠那(田頭)③村上麗奈(平館)、上山奈々(寺田)▽4年生男子の部①高橋照太(大更)②岩渕誠悟(安代)③吉田皇(田頭)、松浦裕介(平館)▽5年生男子の部①遠藤翔太(田頭)②遠藤優治(大更)③高橋和優(寺田)、小林蓮(平館)▽6年生男子の部①松浦智哉(平館)②松浦優太(平館)③畠山辰也(東大更)、中田優哉(大更)



日ごろ鍛えた力と技を競い合う、小さな力士たちの頑張りに、大きな声援が送られました

冬季オリンピック選手を育てる会激励費交付式は8月7日、市役所安代総合支所で行われました。

全日本強化指定選手の八幡いつかさん(陸上自衛隊冬季戦技教育隊・松尾地区出身)、畠山長太さん(早稲田大学・安代地区出身)、小林潤志郎さん(盛岡中央高校・松尾地区出身)の3人が出席し、冬季オリンピック選手を育てる会の米川次郎副会長から激励費が贈られました。



激励費を受ける選手の皆さん(左から小林潤志郎さん、畠山長太さん、八幡いつかさん)

「皆さんの活躍を県民も大変期待しています。三ヶ田礼一選手以来となるオリンピック選手を目指してがんばってください」と激励しました。この日激励費を受けた八幡さんは「今シーズン、世界で確実に戦える力を身につける次のオリンピックにつなげていきたい」と意気込みを語ってくれました。

冬季オリンピック選手を育てる会は、県内から冬季オリンピックに出場できる選手を育てることを目的に3月に設立され、会員数は185人です。出席した3人のほかに、遠藤秀治さん(日本大学・松尾地区出身)、遠藤悠介さん(清光社スキークラブ・松尾地区出身)、新里尚子さん(平館高校・西根地区出身)にも激励費が贈られました。

オリンピックを目指す選手をバックアップ